

要綱第3条に定める間接補助対象経費について

1. 生産性・品質向上機器等導入タイプ

対象費用		
・購入費 ・製作費 ・改良費 ・輸送、運搬費 ・改装工事費 ・設備処分費 ・設置工事費		
	目的	導入機械等
①	気候変動に対応した追肥や追加的防除等	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン(ライセンス取得費用含む) ・乗用型管理機およびアタッチメント(茶園用含む) ・自走式草刈機 ・オフセットモア ・防虫ネット ・ハウスの自動開閉装置 ・すそ刈り機(茶) ・防除用LEDライト、UV-Bランプ ・炭酸ガス燻蒸装置 ・乗用型防除機(SS、茶園防除機、ブームスプレーヤ、ハイクリブーム) ・常温煙霧装置 ・田植機搭載用動散(追肥) ・走行式動散(追肥) ・ラジコン動噴 ・簡易ブームノズル(軽トラ用他) ・静電ノズル ・リーフブロー ・チップパー ・NDVI測定器
②	地力向上に資する緑肥活用や堆肥散布	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロードキャスター ・ブレンドキャスター ・マニユアスプレッダ ・シーダ ・モア ・プラウ ・コンボキャスター ・カルチベータ ・ブレンドソーワ ・ライムソーワ ・粗耕起作業機(スタブルカルチ、スピードカルチ) ・ディスクハロー ・鎮圧ローラー ・作業機の導入と併せて必要となるトラクタ
③	気候変動下での安定生産	<ul style="list-style-type: none"> ・灌水設備(自動灌水・給水・散水装置、日射比例灌水装置、スプリングラー、ポンプ、貯水用タンク、灌水チューブ) ・自動給水柱 ・遮光資材 ・乗用型清切機 ・育苗(挿し芽含む)システム(電熱・底面給水・ミスト) ・自走式散水機 ・電照栽培用資材 ・ポット成苗田植え機 ・ポット苗用播種機 ・溝堀機(大豆の畝間かん水用明渠施工) ・水位センサー(水稲の精密な水管理) ・自動給水装置 ・果樹根域制限栽培資材 ・もみ殻暗渠施行機 ・オーガ ・井戸水ろ過装置 ・トレンチャ ・保温資材(不織布等)
④	気候変動に対応したハウス環境最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・循環扇、送風ダクト ・換気扇 ・外気導入ファン ・換気窓(屋根、肩、妻面)、コリドーの増設 ・細霧冷房 ・パッドアンドファン ・屋根散水 ・冷却水循環装置 ・モニタリング機器 ・複合型環境制御機器 ・遮光・遮熱資材(塗布剤含む) ・保温性被覆資材、内張りカーテン ・暖房設備 ・ヒートポンプ(暖房および冷房) ・融雪装置 ・CO2発生装置および局所施用資材 ・受粉昆虫用恒温箱
⑤	激甚化する気象災害に備えた防災設備	<ul style="list-style-type: none"> ・防風ネット ・果樹棚の多目的防災網 ・防霜ファン ・非常用電源
⑥	夏季の高温等に対応した軽労化	<ul style="list-style-type: none"> ・自動操舵システム ・キャビン付コンバイン ・直進機能付田植機 ・乗用草刈機、自走式草刈機、ロボット草刈機 ・追従型運搬車 ・防草シート ・畝立て整形機、畝立て同時施肥機 ・中耕・培土機、管理機 ・播種機、定植機、移植機、剪葉機 ・つる切り機、収穫機 ・洗浄機、調製機、脱葉機 ・選別機、選果機、選花機 ・自走式野菜作業車 ・マルチャー、マルチはぎ機 ・自動抑草ロボット(アイガモロボ) ・無人走行式防除機 ・キャビン付トラクタ ・アシストスーツ
⑦	気候変動下での品質保持	<ul style="list-style-type: none"> ・非破壊糖度計 ・乾燥機(野菜) ・冷蔵・冷凍設備 ・殺菌装置 ・品質検査機器 ・活魚車 ・保冷車 ・色彩選別機 ・大豆選粒選別機 ・茶被覆棚 ・生茶コンテナ(湿式送風機能付のもの)
⑧	気候変動に対応した漁業・養殖業の生産効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・漁船、漁具、漁労装置 ・養殖池、水槽、筏、給餌等の養殖設備 ・畜養、出荷調整、品質保持等の設備 ・防疫、有害生物の防除設備 ・従事者の作業環境改善機器、設備

※ 同一機械の単純更新は対象外

2. 販路拡大・物流合理化等タイプ

	目的	取組内容	対象費用
①	商品開発	ブランド化、販路開拓	原材料費、設計・デザイン費、専門家謝金、委託費、郵送・運搬費
②	国内プロモーション	販路強化、消費者接点強化、新規販路獲得	ECサイト構築費、広告費、展示会出展費、写真・動画等作成費、セミナー等開催費、市場調査費、郵送・運搬費、県外旅費、会場・備品借上げ費、機材等購入費
③	海外プロモーション	輸出促進、新規市場参入・高単価販路獲得	ECサイト構築費、広告費、海外展示会出展費、写真・動画等作成費、セミナー等開催費、市場調査費、輸出検査費、認証取得費、輸出コンサル謝金、海外向けパッケージ改訂費、海外旅費、宿泊費
④	観光・食育連携	観光と食の接点増加	体験プログラム（料理・収穫体験等）経費、ガイド育成費、受け入れ設備改修費

※ 表1、2については組み合わせての申請が可能。ただし、補助上限額は200万円とし、申請は一回限り